

昭和肥料ニュース

FAX版



Vol. 063

弊社製品の『ジャストマグ』が12月から表示成分の変更を行います。主原料の高騰に対処するため、原料の見直しを行いました。

主成分の 水溶性苦土 16% → 15%

含有成分の ケイ酸 15% → 18%

硫黄 15% → 13%

鉄 2% → 1.5%

その他 マンガン、ホウ素も微量含有

と、成分が微妙に変化しますが、作物生育への影響がないと確認しており、

商品名、使用方法、基準施用量、包材デザインは従来品と変わりません。

この旨、貴社得意先様へご周知をお願いします。（新しいチラシのご請求をお待ちします）
お取り扱いが無い場合は、これを機に新規での販売をご検討ください。

苦土と各種ミネラルの補給には、ジャストマグ！



ジャストマグの『苦土』『ケイ酸』は水溶性、可溶性で作物が吸収しやすく、基肥・追肥いずれでも速効的に効果を発揮します。

- ・ 苦土がすぐ欲しい、苦土欠乏対策に（全作物）
 - ・ 果実の登熟の最後の追い込みに（果菜・果樹）
 - ・ 追肥使用で品質向上、倒伏軽減に（水稻）
 - ・ 芽出し時の使用で、春先の生育向上に（果樹）
 - ・ 蓄積されたリン酸の有効利用促進に（施設作物全般）
 - ・ 塩基バランスの補正のための苦土補給に（全作物）
- 等々に活躍するロングセラー製品です。

15kgの荷姿で扱いやすく、しっかりした硬度の粒状品で機械での散布に好適です。『苦土が欲しい』場合は、ジャストマグがお役に立てます。

苦土石灰を施用しても、苦土欠乏が出る… なんで？

下葉の黄変が特徴的症状の『苦土欠乏』。対策には苦土の補給が適当です。

ならば、苦土石灰の施用で対策完了と思いきや、苦土欠乏が出てしまう、不思議…。これは①苦土の補給が間に合わない。②ク溶性のため表面追肥では根圏には届きにくい。③石灰分との拮抗作用 などが原因と考えられます。

苦土石灰、特に粒状品は水への苦土溶出量が少なく、作物の必要量を満たせないことがあります。基肥施用で根圏全体へ混和しておけば初期～中期は有効ですが、在圃期間の長い作物や、多くの実をつける作物では肝心な後半（収穫期）の苦土供給が不足します。そんな時は水溶性苦土の追肥がぴったり（ジャスト）な対応策になるのです。葉面散布資材での苦土補給も一策ですが、ミネラルやケイ酸の同時補給が可能なジャストマグがさらに上策です。一度お試しください。